

令和 8 年度 河内長野市立西中学校

学 習 の し お り



通知表の見方について(評価のしくみ)

令和8年4月

1.ポイント

学習指導要領の記載に従い、次のような評価を行っています。

- ★「観点別学習状況の評価」の結果を総括し「評定」を求めています。
- ★ 1・2学期の欄には、その学期の評価が記載されます。
- ★ 3学期の欄には、1年間を総括した評価が記載されます。

評価は、お子様の成長を支えるためのものであり、順位付けや比較を目的とするものではありません。

2.「学力」と「評価」

(1) 資質・能力の三つの柱をもとにした評価

学校では、次の三つの力をバランスよく育て、評価していきます。

- ・基礎となる知識や技能(知識・技能)
- ・学んだことを考え、判断し、表現する力(思考・判断・表現)
- ・自ら進んで学ぼうとする力(主体的に学習に取り組む態度)

(2) 学習評価とは

学習評価とは、お子様の学習の様子や身に付いた力を把握するものです。

評価を通して、お子様自身が学びを振り返り、次の学習に生かしていくこと、また、教員が指導方法を見直し、よりよい授業づくりにつなげていくことを大切にしています。

3. 評価のための資料

授業における発言やノート、課題・提出物、実技・発表などの日常の学習状況および、ご家庭での学習への取組、定期テストや小テストの結果等をもとに、観点別に総合的に評価いたします。

なお、提出物の遅れや未提出、忘れ物、欠席が多い場合には、適切な評価が行えないことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

※各教科の学習内容および評価の方法については、このしおりに記載していますので、ご確認ください。

4. 観点別学習状況の評価

各教科の目標や内容に照らして学習状況进行评估するもの

- A・・・十分達成できていると判断されるもの
- B・・・おおむね達成できていると判断されるもの
- C・・・努力を要すると判断されるもの

※観点別学習状況の評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点ごとに行われます。これらの評価には一定の規準がありますが、その内容は教科や单元ごとに異なります。そのため、求められる力を理解し、それに応じた学習に取り組むことが大切です。各教科で示される評価の観点や方法をよく確認しましょう。

5. 評定

各教科の観点別学習状況の評価を総括したもの

- 5 = 十分達成できていると判断されるもののうち、特に程度の高いもの
- 4 = 十分達成できていると判断されるもの
- 3 = おおむね達成できていると判断されるもの
- 2 = 努力を要すると判断されるもの
- 1 = 一層努力を要すると判断されるもの

A	5
	4
B	3
C	2
	1

観点別評価と評定の関係のイメージ

6. 評価の活用

通知表は、単に結果を見るものではなく、自分の学習の様子や身に付いた力を振り返り、今後の学習に生かしていくためのものです。評価から、自分の得意な点や課題を確認し、どのように学習を進めていくかを考えることが大切です。テストの結果だけでなく、日頃の授業への取り組みや提出物なども含めて評価されています。懇談などで先生からの助言を受け、自分の学びを見直し、次の学期や学年につなげていきましょう。

7. 総合的学習の時間の記録

総合的な学習の時間では、課題を見だし、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現するなどの探究的な学習を通して身に付いた力や学び方を評価します。また、主体的・協働的に学習に取り組む態度や、自分の考えを深めていく様子などについて、学習の状況や成長の様子を中心に文章で記録します。

8. 特別の教科 道徳の記録

道徳科では、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める学習の様子を評価します。学習の過程における考えの深まりや気づき、よりよく生きようとする姿などについて、特に成長した点を中心に文章で記録します。

9. 特別活動の記録

生徒会・委員会・学級・その他で務めた係・委員会などのほか、所属した部活動を記載します。

10. 出席等の記録

出席・欠席等の日数、遅刻・早退の回数を記録しています。

国語科

この教科の見方・考え方および指導の重点

学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること

この教科の学習目標（評価の観点）

①知識及び技能

社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

評価規準

○社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

評価の方法

定期・実力テスト
小テスト・暗唱
提出課題の完成度・記入内容

②思考力・判断力・表現力

社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

評価規準

○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

評価の方法

定期・実力テスト
小テスト
提出課題の完成度・記入内容

③主体的に学習に取り組む態度

言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価規準

○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

評価の方法

提出課題の完成度・記入内容

この教科の学習を進めるために必要な持ち物

1年生

教科書
副教材ワーク
ノート

2年生

タブレット
副教材ワーク・プリント
ノート(まとめ用)

3年生

教科書
副教材ワーク
ノート



各学年の学習内容

1 年生

4	授業への準備(1) 「朝のルー」(3) 「はじまりの風」(4)
5	「野原はうたう」(1) 「ダイコンは大きな根？」(4) 「ちよっと立ち止まって」(2) 「情報を整理して説明しよう」(1) 「文法 文の成分」(2)
6	「空の詩 三篇」(4) 「比喻で広がる言葉の世界」(4) 「情報収集の達人になろう」(1) 「語彙を豊かに」(1) 「様々な表現技法」(1)
7	「古典の世界」(4) 「いろは歌」(3) 「読書を楽しむ」(2)
9	「大人になれなかった弟たちに」(4) 「星の花が降るころに」(4) 「項目を立てて書こう」(1) 「文法 単語・文節」(2) 「漢字の音訓」(1)
10	「言葉を持つ鳥シジュウカラ」(4) 「根拠を明確にして書こう」(1) 「大阿蘇」(3) 「蓬葉の球の枝」(4)
11	「今に生きる言葉」(4) 「漢文を読む」(2) 「不便の価値を見つめ直す」(4) 「話題や展開を捉えて話し合おう」(1)
12	「研究の現場によこそ」(2) 「二十歳になった日」(4) 「文法(単語の分類)」(3)
1	「少年の日の思い出」(6)
2	「ぼくがここに」(4)
3	「1 年間の学びを振り返ろう」(2)

2 年生

4	授業への準備(1) 「見えないだけ」(3) 「アイスプラネット」(4)
5	「枕草子」(4) 書写①「行書点画の連続と調和」(2) 「熟語の構成」(2) 「クマゼミ増加の原因を探る」(4)
6	「短歌に親しむ」(4) 「敬語」(4) 「文法 動詞」(3) 「言葉の力」(3) 「類義語・対義語・多義語」(3) 「メディアを比べよう」(4)
7	「思考の視覚化」(4) 「読書を楽しむ」(3) 「資料を示してプレゼンテーション」(4) 「翻訳作品を読み比べる」(4)
9	「盆土産」(5) 「字のない葉書」(5) 「同じ訓・音を持つ言葉」(2) 「表現を工夫して手紙や電子メールを書く」(4)
10	「文法(形容詞・形容動詞)」(3) 「モアイは語る」(5) 「月夜の浜辺」(2)
11	「平家物語」(5) 書写②「行書と仮名の調和」(2) 「徒然草」(5) 「漢詩の風景」(4)
12	「君は最後の晩餐を知っているか」(5) 「文法助詞・助動詞」(4) 「鑑賞文を書く」(4) 「本の世界を広げよう」(3)
1	「走れメロス」(6)
2	「構成や展開を工夫して書こう」(4)
3	「鍵」(2)

3 年生

4	授業への準備(1) 「世界はうつくしいと」(1) 「握手」(5)
5	「説得力のある構成を考えよう」(2) 「学びて時に之を習ふ」(4) 「相手や場に応じた言葉遣い」(2) 「作られた『物語』を超えて」(4) 「熟語の読み方」(2)
6	「論理の展開を意識して書こう」(5) 「俳句の可能性」(2) 「俳句を味わう」(3) 「言葉の釣り糸を垂らす」(2) 「語彙を豊かに」(2)
7	「実用的な文章を読もう」(2) 「報道文を比較して読もう」(2) 「情報の信頼性」(1) 「読書を楽しむ」(1) 「『私の一冊』を探しにいこう」(1)
9	「挨拶」(2) 「故郷」(6) 「論理の展開を整える」(3) 「慣用語・ことわざ・故事成語」(2) 「聞き上手になろう」(2)
10	「複数の意見を読んで、考えよう」(3) 「ないの違いがわからない」(2) 「考えを効果的に伝えよう」(5) 「初恋」(2)
11	「古今和歌集」(2) 「君待つと」(3) 「夏草」(3) 「つながる古典・古典名作選」(1)
12	「それでも言葉を」(4) 「話し合いを効果的に進めよう」(1) 「漢字のまとめ」(1) 「合意形成に向けて話し合おう」(4) 「本は世界への扉」(1)
1	「温かいスープ」(2) 「アラスカとの出会い」(2) 「律儀な桜」(1) 「わたしを束ねないで」(1) 「三年間の歩みをふり返ろう」(5)
2	「初日」(2)
3	「国語の力試し」(3)

社会科

この教科の見方・考え方および指導の重点

地理的分野…社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること

歴史的分野…社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差違などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けること

公民的分野…社会的事象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること

この教科の学習目標（評価の観点）

①知識・技能

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

評価規準

○我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

評価の方法

- ・定期テスト、実力テスト
- ・授業内課題
- ・授業プリント

②思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

評価規準

○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

評価の方法

- ・定期テスト、実力テスト
- ・授業内課題
- ・授業プリント

③主体的に学習に取り組む態度

社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価規準

○社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

評価の方法

- ・定期テスト、実力テスト
- ・授業内課題
- ・授業プリント

この教科の学習を進めるために必要な持ち物

1年生

- ・教科書・地図帳・資料集
- ・ノート
- ・ワーク
- ・スティックのり

2年生

- ・教科書・地図帳・資料集
- ・ノート
- ・ワーク
- ・クロームブック

3年生

- ・教科書・資料集
- ・ノート
- ・ワーク
- ・クロームブック



各学年の学習内容

1 年生

4	＜地理分野＞(10) 第1部 世界と日本の地域構成 ・世界の姿(6) ・日本の姿(4)
5	＜歴史分野＞(20) 第1章 歴史のとらえ方と調べ方(2) 第2章 古代国家の成立と東アジア ・人類の登場から文明の発生へ(5)
6	・東アジアの中の倭(3) ・中国にならった国家づくり(7)
7	・展開する天皇・貴族の政治(3) ＜地理分野＞(34) 第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境(7)
9	第2章 世界の諸地域 ・アジア州(6)
10	・ヨーロッパ州(6)
11	・アフリカ州(3) ・北アメリカ州(5)
12	・南アメリカ州(4) ・オセアニア州(3)
1	＜歴史分野＞(19) 第3章 武家政権の成長と東アジア ・武士の世の始まり(4) ・武家政権の内と外(5)
2	・人々の結びつきが強まる社会(4) 第4章 武家政権の展開と世界の動き ・大航海によって結びつく世界(3)
3	・戦乱から全国統一へ(3)

2 年生

4	＜地理分野＞(20) 第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査(3) 第2章 日本の地域的特色(17)
5	第2章 日本の地域的特色 ＜歴史分野＞(16) 第3章 武家政権の展開と世界の動き ・大航海によって結びつく世界(5)
6	・戦乱から全国統一へ(5) ・武士による全国支配の完成(6)
7	・武士による全国支配の完成
9	＜地理分野＞(45) 第3章 日本の諸地域 ・九州地方(6) ・中国・四国地方(6)
10	・近畿地方(6) ・中部地方(6)
11	・関東地方(6) ・東北地方(6)
12	・北海道地方(6) ・地域の在り方(3)
1	＜歴史分野＞(24) ・天下泰平の世の中(4) ・社会の変化と幕府の対策(3) 第4章 近代国家の歩みと社会 ・欧米諸国における近代(3)
2	・開国と幕府の終わり(4) ・明治政府による近代化(3) ・近代国家への歩み(4)
3	・アジアの強国の光と影(3)

3 年生

4	＜歴史分野＞ 第5節 帝国主義と日本④ 第6節 アジアの強国の光と影② 第1節 第一次大戦と民族独立④ 第2節 高まるデモクラシー③
5	＜歴史分野＞ 第3節 戦争に向かう世論④ 第4節 第二次世界大戦の惨禍④ 第1節 敗戦から立ち直る日本③
6	＜歴史分野・公民分野＞ 第2節 世界の多極化と日本の成長⑤ 第3節 これからの日本と世界③ 第1節 現代社会の特色③ 第2節 現代社会の文化④
7	1編2章 現代社会の見方考え方③ 2編1節 政治と日本国憲法④ 2編2節 憲法と基本的人権⑩
9	2編3節 日本の平和主義② 2編1節 民主政治と政治参加④ 2編2節 国の政治のしくみ⑧ 2編3節 暮らしを支える地方自治④
10	3編1節 経済のしくみと消費生活⑤ 3編2節 生産の場としての企業⑧ 3編3節 金融のしくみ③
11	3編2章 国民生活と政府の役割⑤ 4編1節 国家と国際社会⑥ 4編2節 国際社会の課題⑥
12	＜地理分野の復習＞(12) 地理分野の復習
1	＜歴史分野の復習＞(12) 歴史分野の復習
2	＜3年間の復習＞(16) 地理分野の復習 歴史分野の復習 公民分野の復習
3	＜3年間の復習＞(1) 公民分野の復習

数学科

この教科の見方・考え方および指導の重点

事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること

数学的活動を通して、数量や図形などに関する原理、原則に理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し、表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

この教科の学習目標（評価の観点）

①知識・技能

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

評価規準

○数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。

○事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

評価の方法

- ・定期テスト
- ・実力テスト
- ・小テスト
- ・レポート課題への記入内容

②思考・判断・表現

数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

評価規準

○数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。

評価の方法

- ・定期テスト
- ・実力テスト
- ・小テスト
- ・レポート課題への記入内容

③主体的に学習に取り組む態度

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

評価規準

○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

評価の方法

- ・ノートの内容
- ・ワークの内容
- ・レポート課題への記入内容

この教科の学習を進めるために必要な持ち物

1年生

- ・教科書
- ・ファイル
- ・ノート
- ・ワーク
- ・直定規
- ・コンパス

2年生

- ・教科書
- ・ノート
- ・ワーク
- ・直定規
- ・コンパス

3年生

- ・教科書
- ・ノート
- ・ワーク
- ・直定規
- ・コンパス



各学年の学習内容

1年生

4	0 章 算数から数学へ(4) ・整数の性質(4)
5	1 章 正負の数(25) ・正負の数(4) ・加法と減法(8) ・乗法と除法(10)
6	・正負の数の利用(2) ・章末問題(1) 2 章 文字と式(18) ・文字を使った式(8)
7	・文字式の計算(6) ・文字式の利用(3) ・章末問題(1)
9	3 章 方程式(14) ・方程式とその解き方(7) ・1 次方程式の利用(6) ・章末問題(1)
10	4 章 比例と反比例(22) ・関数と比例・反比例(5) ・比例の性質と調べ方(7) ・反比例の性質と調べ方(6)
11	・比例と反比例の利用(3) ・章末問題(1) 5 章 平面図形(17) ・図形の移動(6)
12	・基本の作図(8) ・おうぎ形(2) ・章末問題(1)
1	6 章 空間図形(18) ・いろいろな立体(3) ・立体の見方と調べ方(9) ・立体の体積と表面積(5)
2	・章末問題(1) 7 章 データの分析と活用(11) ・データの整理と分析(5) ・データの活用(2) ・ことがらの起こりやすさ(3) ・章末問題(1)
3	・1年間の復習(11)

2年生

4	1 章 式の計算(15) ・式の計算(8)
5	・文字式の利用(6) ・章末問題(1)
6	2 章 連立方程式(12) ・連立方程式とその解き方(7) ・連立方程式の利用(4) ・章末問題(1)
7	3 章 1 次関数(19) ・1 次関数(2) ・1 次関数の性質と調べ方(8)
9	・2 元 1 次方程式と 1 次関数(4) ・1 次関数の利用(4) ・章末問題(1)
10	4 章 平行と合同(15) ・説明のしくみ(3) ・平行線と角(5) ・合同な図形(6) ・章末問題(1)
11	5 章 三角形と四角形(21) ・三角形(8) ・平行四辺形(12) ・章末問題(1)
12	6 章 確率(9) ・確率(6)
1	・確率による説明(2) ・章末問題(1)
2	7 章 データの比較(5) ・四分位範囲と箱ひげ図(4) ・章末問題(1)
3	1年間の復習(9)

3年生

4	1 章 多項式(19) ・多項式の計算(8)
5	・因数分解(6) ・式の計算の利用(4) ・章末問題(1)
6	2 章 平方根(16) ・平方根(6) ・根号をふくむ式の計算(8) ・平方根の利用(1) ・章末問題(1)
7	3 章 2 次方程式(15) ・2 次方程式とその解き方(10)
9	・2 次方程式の利用(4) ・章末問題(1) 4 章 関数 $y=ax^2$ (17) ・関数 $y=ax^2$ (3) ・関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方(8)
10	・いろいろな関数の利用(5) ・章末問題(1) 5 章 相似な図形(23) ・相似な図形(9)
11	・平行線と比(8) ・相似な図形の面積と体積(5) ・章末問題(1)
12	6 章 円(10) ・円周角の定理(6) ・円周角の定理の利用(3) ・章末問題(1)
1	7 章 三平方の定理(13) ・三平方の定理(4) ・三平方の定理の利用(8) ・章末問題(1)
2	8 章 標本調査(6) ・標本調査(5) ・章末問題(1)
3	・1年間の復習+入試対策(21)

理科

この教科の見方・考え方および指導の重点

【見方】「エネルギー」を柱とする領域 主として量的・関係的な視点で捉えること

「粒子」を柱とする領域 主として質的・実体的な視点で捉えること

「生命」を柱とする領域 主として多様性と共通性の視点で捉えること

「地球」を柱とする領域 主として時間的・空間的な視点で捉えること

【考え方】比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること

この教科の学習目標（評価の観点）

①知識・技能

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

評価規準

○自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。

評価の方法

定期・実力テストなど
小テスト
実験観察レポート・課題プリント等への記入内容

②思考・判断・表現

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

評価規準

○自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

評価の方法

定期・実力テスト
小テスト
実験観察レポート・課題プリント等への記入内容

③主体的に学習に取り組む態度

自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価規準

○自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

評価の方法

実験観察レポート・ノート等などを通じて、科学的に探究しようとしている様子があるかなどを評価する

この教科の学習を進めるために必要な持ち物

1年生

- ①教科書
- ②ノート
- ③ファイル
- ④ワーク

2年生

- ①教科書
- ②ノート

3年生

- ①教科書
- ②ノート



各学年の学習内容

1 年生

4	自然の中にあふれる生命(9)
5	いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類(9)
6	2章 動物の特徴と分類(10) 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質(8)
7	2章 いろいろな気体とその性質(6)
9	3章 水溶液の性質(6) 4章 物質のすがたとその変化(8)
10	光・音・力による現象 1章 光による現象(9)
11	2章 音による現象(6)
12	3章 力による現象(10)
1	生きている地球 1章 身近な大地(5)
2	2章 ゆれる大地(5) 3章 火をふく大地(7)
3	4章 語る大地(7)

2 年生

4	化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち(10) 2章 物質の表し方(5)
5	3章 さまざまな化学変化(11) 4章 化学変化と物質の質量(8)
6	生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの(7) 2章 植物の体のつくりとはたらき(10)
7	3章 動物の体のつくりとはたらき(14)
9	4章 動物の行動のしくみ(8)
10	地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気のように(5)
11	2章 大気中の水の変化(7)
12	3章 天気の変化と大気の動き(8)
1	4章 天気の動きと日本の四季(10)
2	電流とその利用 1章 電流の性質(18) 2章 電流の正体(9)
3	3章 電流と磁界(10)

3 年生

4	化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン(10) 2章 電池とイオン(7)
5	3章 酸・アルカリと塩(12)
6	生命の連続性 1章 生物の成長と生殖(10) 2章 遺伝の規則性と遺伝子(7)
7	3章 生物の種類の多様性と進化(6)
9	運動とエネルギー 1章 力の合成と分解(9)
10	2章 物体の運動(11) 3章 仕事とエネルギー(8)
11	4章 多様なエネルギーとその移り変わり(4) 5章 エネルギー資源とその利用(4)
12	地球を見る 1章 地球から宇宙へ(7) 2章 太陽と恒星の動き(9)
1	3章 月と金星の動きと見え方(7)
2	自然と人間 1章 自然界のつりあい(6) 2章 様々な物質の利用と人間(6) 3章 科学技術の発展(3)
3	4章 人間と環境(9) 5章 持続可能な社会をめざして(5)

音楽科

この教科の見方・考え方および指導の重点

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること

この教科の学習目標（評価の観点）

①知識・技能

曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

評価規準

○曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。

○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

評価の方法

定期テスト
実技テスト
ワークシート内容
音楽新聞と鑑賞内容

②思考・判断・表現

音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

評価規準

○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

評価の方法

定期テスト
実技テスト
ワークシート内容
音楽新聞と鑑賞内容

③主体的に学習に取り組む態度

音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

評価規準

○音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価の方法

定期テスト
実技テスト
ワークシート内容
音楽新聞と鑑賞内容

この教科の学習を進めるために必要な持ち物

1年生

教科書
ファイル
ワーク
アルトリコーダー

2年生

教科書
ファイル
ワーク
アルトリコーダー

3年生

教科書
ファイル
ワーク
アルトリコーダー



各学年の学習内容

1 年生

4	●歌の基礎を作ろう(2) ●アルトリコーダーに親しもう(3)
5	●歌の基礎を元に歌ってみよう。(4) ●アルトリコーダーを吹いてみよう。(4)
6	●鑑賞 曲想の変化を感じ取って聴こう(2)
7	●楽典 音符や記号を覚えよう(3)
9	●詩や曲の雰囲気合った声で言葉を大切に歌おう(3)
10	●創作～リズムづくり～(3)
11	●鑑賞 詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取ろう(2)
12	●アルトリコーダーの指使いを確実にしよう(3)
1	●歌詞を感じ取って、速度や強弱の変化を生かし、表現を工夫しよう(3)
2	●鑑賞 日本の伝統音楽に親しもう(3)
3	●日本の和楽器に親しもう(3)

2 年生

4	●合唱の楽しさを知ろう(5) ●リコーダー～サミング～(2)
5	●鑑賞 フーガのおもしろさを味わおう(2)
6	●楽典 速度や強弱を覚えよう(1)
7	●アルトリコーダー(3)
9	●詩の内容と曲想の変化を感じ取り、強弱の変化を工夫して表現しよう(5)
10	●アルトリコーダー ～アーティキュレーション～(2)
11	●創作～音楽づくり～(3)
12	●鑑賞 日本の伝統音楽に親しもう(2)
1	●歌詞のまとまりやフレーズを生かして歌おう(4)
2	●アルトリコーダー(2)
3	●鑑賞 曲のしくみに注目して名曲を楽しもう(2)

3 年生

4	●歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫しよう(3)
5	●アルトリコーダー(3) ●鑑賞 オーケストラの豊かな響きを味わおう(2)
6	●楽典 表現に必要な音符や記号を覚えよう(3)
7	●アルトリコーダー(3)
9	●詩の内容と曲想の変化を感じ取り、強弱の変化を工夫しパートの役割を理解して表現しよう(3)
10	●アルトリコーダー(3)
11	●ポピュラー音楽(3) ●創作～リコーダーの曲を作ってみよう～(3)
12	●ルールを守って音楽を楽しもう(2)
1	●鑑賞 日本の伝統音楽に親しもう(2)
2	●卒業に向けて(4)
3	●国歌・校歌・市民歌(2)

美術科

この教科の見方・考え方および指導の重点

感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと

この教科の学習目標（評価の観点）

①知識・技能

対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

評価規準

○対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。

○表現方法を創意工夫し、創造的に表している。

評価の方法

作品
定期テスト

②思考・判断・表現

造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

評価規準

○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

評価の方法

作品 アイデアスケッチ
定期テスト

③主体的に学習に取り組む態度

美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

評価規準

○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

評価の方法

作品 練習プリント
ノートの管理
プリントへの書き込み
定期テスト

この教科の学習を進めるために必要な持ち物

1年生

教科書
ノート

2年生

教科書
ノート

3年生

教科書
美術資料
ノート



各学年の学習内容

1 年生

4	伝える目的や条件などをもとに、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどの調和を考え、表現する(12)
5	身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考える(2)
6	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考える(2)
9	対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、創造したことなどをもとに主題を生み出し、全体と部分の関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する(4)
10	目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考える(2)
11	構成や装飾の目的や条件などをもとに、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現する(12)
12	使う目的や条件などをもとに、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考え、表現する(8)
3	身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考える(3)

2 年生

4	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考える(2)
5	伝える目的や条件などをもとに、伝える相手や内容、社会との関りなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え表現する(9)
6	目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考える(2)
9	対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する(10)
11	日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統文化のよさや美しさを感じ取り諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考える、(3)
1	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を総合的に考え表現する(9)
3	

3 年生

4	構成や装飾の目的や条件などをもとに、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え表現する(3)
5	対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する(8)
6	身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考える(2)
9	対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する(10)
11	日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統文化のよさや美しさを感じ取り諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考える、(3)
1	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を総合的に考え表現する(9)
2	
3	

保健体育科

この教科の見方・考え方および指導の重点

体育…運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること

保健…個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること

この教科の学習目標（評価の観点）

①知識・技能

各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

評価規準

○運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。

評価の方法

各種目での実技テスト、
定期テスト
ロイロノート・シンキングツール

②思考・判断・表現

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

評価規準

○自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

評価の方法

定期テスト
体育ノート、ワークの提出、記述内容。
ロイロノート・シンキングツール

③主体的に学習に取り組む態度

生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

評価規準

○運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。

評価の方法

課題の発見、解決
学習に積極的、主体的に取り組もうとしているか
授業に取り組む意欲
ロイロノート・シンキングツール

この教科の学習を進めるために必要な持ち物

1年生

【教室で授業をする場合】

筆記用具
新中学保健体育
中学保体資料ノート1年
保健体育授業用ノート
クロームブック

【運動場・体育館等で授業をする場合】

体操服(4月は夏用・冬用体操服のどちらでもかまいません。冬用体操服を着る場合は冬用の下に夏用体操服を必ず着ておく。5月からは夏用体操服で行います)
運動靴
体育館シューズ
単元によって必要なもの(水着など)

2年生

【教室で授業をする場合】

筆記用具
中学校保健体育
中学体育実技
中学保体資料ノート2年
保健体育授業用ノート
クロームブック

【運動場・体育館等で授業をする場合】

体操服(4月は夏用・冬用体操服のどちらでもかまいません。冬用体操服を着る場合は冬用の下に夏用体操服を必ず着ておく。5月からは夏用体操服で行います)
運動靴
体育館シューズ
単元によって必要なもの(水着など)

3年生

【教室で授業をする場合】

筆記用具
中学校保健体育
図解中学体育
中学保体資料ノート3年
保健体育授業用ノート
クロームブック

【運動場・体育館等で授業をする場合】

体操服(4月は夏用・冬用体操服のどちらでもかまいません。冬用体操服を着る場合は冬用の下に夏用体操服を必ず着ておく。5月からは夏用体操服で行います)
運動靴
体育館シューズ
単元によって必要なもの(水着など)



各学年の学習内容(体育分野)

1 年生

4	集団行動(9) 体づくり運動 新体力テスト
5	ハードル走(8)
6	マット運動(8)
7	水泳(8)
9	体育大会練習(9) 短距離走
10	ソフトボール(9)
11	バレーボール(10)
12	長距離走(8)
1	バスケットボール(10)
2	武道(9)
3	

2 年生

4	集団行動(9) 体づくり運動 新体力テスト
5	走り高跳び(8)
6	跳び箱(8)
7	水泳(8)
9	体育大会練習(9) 短距離走
10	ソフトボール(9)
11	バレーボール(10)
12	長距離走(8)
1	ハンドボール(10)
2	ダンス(10)
3	

3 年生

4	集団行動(9) 体づくり運動 新体力テスト
5	サッカー(8)
6	バスケットボール(8)
7	水泳(8)
9	体育大会練習(9) 短距離走
10	ソフトテニス(9)
11	バレーボール(10)
12	長距離走(8)
1	フライングフットボール(7) グラウンドゴルフ(3)
2	バドミントン(9)
3	

各学年の学習内容(保健分野)

1 年生

4	「健康な生活と病気の予防」 ①健康の成り立ち
5	②運動と健康 ③食生活と健康
6	④休養・睡眠と健康 (4)
7	「心身の発達と心の健康」 ①体の発達・発達 ②呼吸器・循環器の発達 (2)
9	「心身の発達と心の健康」
10	③生殖機能の成熟①
11	④生殖機能の成熟②
12	⑤性とう向き合うか ⑥心の発達① ⑦心の発達② ⑧自己形成 (6)
1	「心身の発達と心の健康」
2	⑨欲求不満やストレスへの 対処①
3	⑩欲求不満やストレスへ の対処② (2) 体育編 「スポーツの多様性」 ①スポーツの始まりと発展 ②スポーツへの多様な 関わり方 ③スポーツの多様な 楽しみ方 (3)

2 年生

4	「健康な生活と病気の予防」 ①生活習慣病とその予防①
5	①生活習慣病とその予防② ②がんとその予防
6	③喫煙と健康 ④飲酒と健康
7	⑤薬物乱用と健康 ⑥喫煙・飲酒・薬物乱用の きっかけ (7)
9	「傷害の防止」
10	①傷害の原因と防止
11	②交通事故の現状と原因
12	③交通事故の防止 ④犯罪被害の防止 ⑤自然災害に備えて ⑥応急手当の意義と基本 (きずの手当) (6)
1	●心肺蘇生法 (1)
2	体育編
3	「スポーツの意義や効果と学び方や 安全な行い方」 ①スポーツが心身と 社会性に及ぼす効果 ②スポーツの学び方 ③スポーツの安全な行い方 (3)

3 年生

4	「健康な生活と病気の予防」 ①感染症とその予防①
5	②感染症とその予防② ③性感染症とその予防/エイズ①
6	④性感染症とその予防/エイズ② ⑤健康を守る社会の取り組み
7	⑥⑦医療機関の利用と医薬品の 使用 (7)
9	「健康と環境」
10	①環境の変化と適応能力
11	②活動に適した環境
12	③室内の空気の状態 ④水の役割と飲料水の確保 ⑤生活排水の処理 ⑥ごみの処理 ⑦環境の汚染と保全 (7)
1	体育編
2	「文化としてのスポーツ」
3	①スポーツの文化的意義 ②国際的なスポーツ大会と その役割 ③人々を結びつけるスポーツ (3)

技術・家庭科

この教科の見方・考え方および指導の重点

技術分野…生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に着目して技術を最適化すること

家庭分野…家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること

この教科の学習目標（評価の観点）

①知識・技能

生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

評価規準

○生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。

○家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

評価の方法

技術分野	家庭分野
期末テスト	期末テスト
実習の実技技能	実習の実技技能

②思考・判断・表現

生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

評価規準

○生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

○これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

評価の方法

技術分野	家庭分野
クロームブックの感想	クロームブックの感想
ワークシートへの書き込み	ワークシートへの書き込み

③主体的に学習に取り組む態度

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価規準

○よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

評価の方法

技術分野	家庭分野
実習課題の試行・記録	実習課題の試行・記録
eライブラリの進捗	eライブラリの進捗
ワークシートへの書き込み	ワークシートへの書き込み

この教科の学習を進めるために必要な持ち物

1年生

技術分野	家庭分野
クロームブック	クロームブック
教科書	教科書
実習カード	実習カード
eライブラリ冊子	eライブラリ冊子

2年生

技術分野	家庭分野
クロームブック	クロームブック
教科書	教科書
実習カード	実習カード
eライブラリ冊子	eライブラリ冊子

3年生

技術分野	家庭分野
クロームブック	クロームブック
教科書	教科書
実習カード	実習カード
eライブラリ冊子	eライブラリ冊子



各学年の学習内容

1 年生

4	B 生物育成の技術 ・生活や社会を支える生物育成の技術(8)
5	A 家族・家庭生活 ・自分の成長と家族・家庭生活(1) ・食事の役割と中学生の栄養の特徴(4)
6	A 材料と加工の技術 ・生活や社会を支える材料と加工の技術(5)
7	B 衣食住の生活 ・中学生に必要な栄養を満たす食事(4) ・日常食の調理(4)
9	A 材料と加工の技術 ・社会の発展と材料と加工の技術(6)
10	B 衣食住の生活 ・衣服の選択と手入れ(3)
11	B 生物育成の技術 ・生物育成の技術による問題の解決(6) ・社会の発展と生物育成の技術(1)
12	B 衣食住の生活 ・生活を豊かにするための布を用いた製作(10)
1	A 材料と加工の技術 ・材料と加工の技術による問題の解決(9)
2	B 衣食住の生活 ・住居の機能と安全な住まい方(6)
3	A 家族・家庭生活 ・家族・家庭や地域との関わり(3)

2 年生

4	D 情報の技術 ・生活や社会を支える情報の技術(3)
5	B 衣食住の生活 ・地域の食文化(3)
6	D 情報の技術 ・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決(10)
7	B 衣食住の生活 ・衣食住の生活についての課題と実践(10)
9	C エネルギー変換の技術 ・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術(2) ・社会の発展とエネルギー変換の技術(2)
10	A 家族・家庭生活 ・幼児の生活と家族(7)
11	C エネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術による問題の解決(9)
12	A 家族・家庭生活 ・家族・家庭生活についての課題と実践(6)
1	D 情報の技術 ・計測・制御のプログラミングによる問題の解決(9)
2	A 家族・家庭生活 ・家族・家庭生活についての課題と実践(9)
3	

3 年生

4	C 消費生活・環境 ・金銭の管理と購入(5)
5	C 消費生活・環境 ・消費者の権利と責任(5)
6	C 消費生活・環境 ・消費生活・環境についての課題と実践(6)
7	
9	D 情報の技術 ・計測・制御のプログラミングによる問題の解決(3)
10	D 情報の技術 ・統合的な問題の解決(5)
11	D 情報の技術 ・社会の発展と情報の技術(4)
12	
1	D 情報の技術 ・統合的な問題の解決(7)
2	
3	

英語科

この教科の見方・考え方および指導の重点

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

この教科の学習目標（評価の観点）

①知識・技能

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

評価規準

○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。

○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。

評価の方法

- ・定期テスト・小テスト
- ・発表への取り組み

②思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

評価規準

○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。

評価の方法

- ・定期テスト
- ・パフォーマンステスト
- ・授業内のプリントの表現や振り返り等

③主体的に学習に取り組む態度

英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

評価規準

○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

評価の方法

- ・定期テスト
- ・パフォーマンステスト
- ・授業内のプリントの表現や振り返り等

この教科の学習を進めるために必要な持ち物

1年生

教科書
マスターノート
英語のパートナー
ムーミンファイル
ニュー・リスニング・プラス

2年生

教科書
英語4線ノート
英語のパートナー
ファイル

3年生

教科書
マスターノート
ムーミンファイル
ニュー・リスニング・プラス
ぎゅぎゅつと総まとめ



各学年の学習内容

1 年生

4	Ready(14) 身の回りにある英語 へボン式ローマ字 英語の発音に気をつける (アルファベットフォニックス) アルファベットの文字と音のつながり 教室で使う簡単な英語になれる 単語・文の書き方
5	Program 1(14) be 動詞(肯定・否定・疑問) where の疑問文 Step 1 “発表上手になろう”
6	Program 2(14) 一般動詞(肯定・否定・疑問) 複数形 When の疑問文 アクションコーナー 命令文
7	Step 2(10) マッピングの使用 Our Project 1 復習 Power-Up 1 “Can I have ~? How much ~?” Program 3 can(肯定・否定・疑問) What の疑問文 Program 4 This [That] is ~. He [She] is ~. Who の疑問文、What の疑問文
9	Program 5(14) “三人称・単数・現在” Power-Up 2 Which の疑問文 Whose の疑問文
10	Program 6(14) him, her Why の疑問文、Because ~. Step 3 スピーチの構成
11	PROGRAM 7(14) There is [are] ~. How の疑問文 疑問詞のまとめ 疑問詞を使った疑問文 Step 4 話を聞く際のポイント
12	Program 8(10) “現在進行形” Power-Up 4 Can I help you? Do you have the same one in ~?
1	Power-Up 5(14) 一般動詞の過去形 (復習)
2	Program 9(14) 一般動詞の過去形 Program 10 be 動詞の過去形 過去進行形 Step 6 There is [are] ~. 現在進行形(復習)
3	Our Project 3(8) 復習 Power-Up 6 手紙で使う表現 (Dear ~ / Your friend,)

2 年生

4	Program 1(14) 予定・これからの事を言う ～することを楽しむ表現 英語の略語表現 簡単な表現で言いかえる
5	Program 2(14) 自分の考えを述べる いつ・もし、の話を言う 天気予報を聞こう 魅力を伝えるためのコツを知ろう
6	Program 3(14) 自分のしたいことを言う 目的を言う 手段を言う
7	Our Project 4(10) 電話をかけよう Reading 1 読み物教材
9	Program 4(14) 自分の気持ちを言う 義務や命令を言う 必要性を言う レストランで食事しよう 世界自然遺産 分かりやすい見出しをつけよう
10	Program 5(14) 何かの仕方と言う 状態について言う 誰かに何かを貸す
11	Program 6(14) 2つの物を比べる 程度の高いものを言う 同じ程度のものを言う メールで近況報告をしよう 相手にわかりやすい説明をしよう
12	Our Project 5(10) Reading 2 読み物教材 動物を使った英語表現
1	Program 7(14) より好きなものと言う 最も好きなものと言う ～の仕方を教えてもらおう
2	Program 8(14) されていることを言う 誰かにされたことを言う 知られていることを言う 飛行機のアナウンスを聞こう 説得力のある説明をしよう
3	Our Project 6(8) Reading 3 読み物教材 Word web

3 年生

4	Program 1(14) 人に～するよう頼む 人にとって～するのは簡単だと言う 経験を言う・聞く
5	Program 2(14) 完了したことを言う し続けていることを言う 聞き上手になろう
6	Program 3(14) 相手に状況を伝える 状態を言う 電車の乗換案内をしよう パラリンピック、ここに注目 パスターセッションの流れを確認
7	Our Project 7(10) Reading 1 読み物教材 ディスカッションの流れを確認する
9	Program 4(14) ～している人と言う ～されたものと言う 間接的に質問する
10	Program 5(14) どんな人物かと言う どんなものかと言う ポスターから情報を読み取ろう 元気をくれるスヌーピーの言葉 ディスカッションで使う表現を確認
11	Program 6(14) どんな人物かと言う どんなものかと言う 省略した表現を言う
12	Our Project 8(10) レストランにSDGsの取り組みを提案する ラジオのCMを聞こう
1	Program 7(14) 仮定の話をする こうだったらのにと願望を言う 自分の願いを言う
2	ウェブサイトで学校を紹介しよう(14) Reading 2 読み物教材
3	Special Project(8) Further Reading 1 Further Reading 2 Further Reading 3 世界で活躍する日本人 Word web